

[単位: 千円]

5 環境にやさしい循環型社会, 持続可能なエネルギー社会 の実現

8 項目 1, 148, 600

<環境政策局>

①「BEMS普及コンソーシアム京都」推進事業 6, 500

エネルギー消費量が増加している民生・業務部門の省エネ・節電の実現に向けて、電力使用状況の「見える化」が可能となるBEMS（ビルエネルギーマネジメントシステム）の普及を図るため、産学公の力を結集し、創設するコンソーシアムにおいて、民生・業務部門の中小事業者とBEMS専門事業者とのマッチングや省エネに関する専門家の派遣など、BEMS導入を促進させる環境づくりを構築する。

[環境政策局 地球温暖化対策室 TEL 222-4555]

②イクレイ東アジア地域理事会京都開催 40, 000

京都議定書誕生の地から、「環境先進都市・京都」を広く国内外へ積極的に発信するとともに、中国をはじめとした東アジアの自治体に「イクレイー持続可能性をめざす自治体協議会」への加盟を促し、東アジア地域の自治体が直面している環境問題を共有し、その解決策を共に検討するため、26年秋に、イクレイ東アジア地域理事会及びその関連事業（国際シンポジウム等）を本市で開催する。

[環境政策局 地球温暖化対策室 TEL 222-4555]

③生物多様性保全推進事業 10, 300

25年度に策定する「京都市生物多様性プラン」に基づき、京都の豊かな自然環境と生物多様性に支えられてきた暮らしや文化を守り、継承・発展させていくため、生物多様性に対する理解を深めるとともに、生物多様性保全の活動に市民・事業者・大学・市民団体といった多様な主体の参画・連携を促すための取組を推進する。

全体事業費 14百万円

(局配分枠4百万円, 政策的新規・充実事業予算枠10百万円)

[環境政策局 環境管理課 TEL 222-3951]

(5 環境にやさしい循環型社会，持続可能なエネルギー社会の実現)

[単位：千円]

④雑がみ等の紙ごみ分別・リサイクル徹底推進事業 15,000

更なるごみ減量を推進するため，25年度に実施している「包装紙等の雑がみの分別リサイクル拡大に向けた社会実験」を踏まえて，26年度から雑がみ等の紙ごみ分別・リサイクルの本格実施をスタートさせ，市民による「徹底した分別」と古紙業者による「確実な回収」を図る仕組みを早期に確立する。

[環境政策局 まち美化推進課 TEL 213-4960]

【局配分枠等における主な新規・充実事業(環境政策局)】

[新規事業]

- ◇「みんなで目指そう！ごみ半減！循環のまち・京都プランー京都市循環型社会推進基本計画ー」の推進 15,000

[充実事業]

- ◇自立分散型エネルギー利用促進事業
全体事業費 278,600 (うち充実分 77,500)

<都市計画局>

⑤既存住宅の省エネリフォーム等支援事業 142,400

住宅の断熱化などによる家庭部門のエネルギー消費量の削減に向け，市民の皆様が利用しやすい既存住宅の省エネ改修に対する助成制度を創設する。また，普及啓発や市内事業者への技術支援等を行うため，産官協働による住宅のリフォームを推進する体制を構築する。

助成対象工事 窓や躯体（外壁，屋根，床等）の断熱改修工事等

助成額 メニューごとの定額制（1戸当たりの助成上限額50万円）

※ 省エネリフォームと同時に，太陽光発電システムなどの再エネ設備を導入した場合に，再エネ設備導入に対する助成額を増額する。

[都市計画局 住宅政策課 TEL 222-3666]

[単位: 千円]

<建設局>

⑥ LED道路照明灯の設置 (更新・新設) 877,000

本市が管理する水銀灯や市街灯 (蛍光灯) など約80,000基の道路照明灯については, 維持管理コストの縮減, 節電及び低炭素化に向け, 24年度から, 生活道路に設置する市街灯の新設時のLED化を, また, 25年度からは更新時のLED化を進めている。

26年度からは, 市街灯について, LED灯への転換を3年前倒しし, 28年度までに約67,000基全てをLED化するとともに, 幹線道路に設置している水銀灯についても, 27年度までに約10,000基全てのLED灯への転換を進めていく。

年次計画 生活道路の市街灯 26~28年度 約21,000基/年をLED化 (25年度に4,400基をLED化)

※ 新設分800基/年もLED化

幹線道路の水銀灯 26年度 1,000基をLED化 (試験設置)

27年度 9,000基をLED化

※ 新設分50基/年及び老朽化支柱建替え分110基/年もLED化

[建設局 調整管理課 TEL 222-3568]

⑦花と緑あふれるまちづくり~緑視環境向上プロジェクト~

紅葉景観創造事業 56,400

老朽化, 害虫による被害が深刻化しているスズカケノキを美しく紅葉する樹種に植え替えることより, 良好な沿道景観を形成し, 緑豊かな空間を創出する。

26年度は, 東大路通 (北大路通~丸太町通) 及び西大路通 (丸太町通~十条通) で, 虫害, 老朽化の深刻な樹木から約140本を樹種転換する。

全体事業費 (道路の森づくりなど緑視環境向上プロジェクト) 464百万円

(うち政策的新規・充実事業予算枠56百万円)

[建設局 緑政課 TEL 222-3589]

(5 環境にやさしい循環型社会, 持続可能なエネルギー社会の実現)

[単位: 千円]

<産業観光局>

⑧京都発森林バイオマスエネルギー利活用推進事業 1,000

林地に残された間伐材をはじめとする未利用材の需要創出に向け, 森林バイオマス資源のエネルギー等への利活用に向けた新たな手法の調査等の結果を踏まえ, 民間, 行政等が実施すべき施策等を具体的に検討するため, 関係団体による「森林バイオマス利活用推進会議」を設置する。

[産業観光局 林業振興課 TEL 222-3346]